

Q.06

適切に乾燥しても木口付近には割れが多く発生します。
この割れを防ぐ方法は無いの？

A.06

**木口からの乾燥の抑制、
あるいは乾燥による木口付近の変形の抑制が
効果的です。**

木材の組織構造上、木口は板目、まさ目に比べ最も乾燥しやすい材面です。そのため乾燥初期に発生する割れの多くは木口割れになります。木口割れを少なくするためには、木口からの乾燥を抑えること、木口付近の乾燥による変形を物理的に抑制することがポイントになります。

木口割れ抑制効果が期待できる方法として以下のことが挙げられます。

- ①製品の両端を丸鋸等で平滑にカットし材長を揃えます。
- ②棧積みを台車に載せるとき、木口に強い風が当たらないように製品の間隔、製品と乾燥室内の奥およびドア側との隙間を狭く置きましょう。大きな空間には、しゃ風板の利用が効果的です。
- ③棧積み時、両木口には少し幅の広い棧木を材端に揃えて丁寧に置きましょう。材長が揃っていることで、棧木による木口割れ抑制効果の増加が期待されます。また、棧木の厚みむらは、製品を押える力にばらつきを生じさせ、木口割れ抑制効果が低減します。棧木の厚み管理は大切です。
- ④木口付近の変形抑制には、棧積みにおもしを載せることが効果的です。おもしは、乾燥中に棧木が製材にめり込まない程度のものを使うことが肝要です。

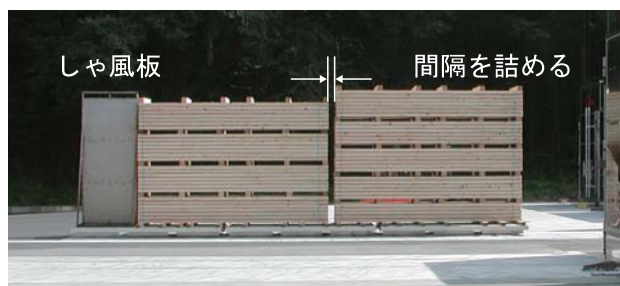


写真1 台車への棧積み状況

入炉時、材と乾燥室内の奥、ドア側との隙間を狭くしましょう

材端の棧木位置に配慮を！



写真2 棧積みした材端部の様子



写真3 木口部分をカバーした天然乾燥材

また、木口からの乾燥を抑える方法として、木口に塗料等を塗る、木口をシートで覆うのも効果があります。この方法は天然乾燥で行われることがあります。